

竹原市地域公共交通網形成計画素案に関する意見

番号	頁数	指摘事項	対応状況
1	p.51ほか	<p>福祉バスの路線変更の要望がある。 (東野町在家地区の高齢者はバス停まで遠いので利用できない)</p>	<p>福祉バスの運行は、住民のニーズなどを踏まえ、新たな交通モードの実証実験を行いながら、市域全体で持続可能な公共交通モードの再編と併せて検討していきたいと考えております。</p>
2	p.30, 68, 111	<p>・公共交通機関の活性化，利用者の増加に関して（免許返納等） 免許返納者数は年々増加しているものの，人口に占める返納者数の絶対数は少ない。その背景には，生活上，必要に迫られ，車や免許を手放すことができない現状があると推測される。 しかしながら，昨今の高齢ドライバーの重大事故の発生や，更なる高齢化から今後も免許返納は増加すると見込まれる。 そのような情勢下において，免許返納者を公共交通機関の利用者として取り込む工夫・努力も必要ではないか。 例を挙げれば，竹原の免許返納者の優遇制度は民間企業で2社のみ。 免許返納を対象とした優遇制度は，公共交通機関の直接的な制度は勿論，地元商店や企業などの優遇により，これらの利用者が増加することで間接的に公共交通機関利用者の増加を狙えると考える。 利用促進施策として行政による助成の他，優遇制度を行う民間企業の拡大促進など，行政各部門の横断的連携が必要では？ 警察署においても，免許返納申出者に対する公共交通機関の案内など連携を図れる部分はあるのではないか。</p>	<p>p.107に免許返納に対する取り組みについて追記しました。</p>

番号	頁数	指摘事項	対応状況
3	p.32	<p>・福祉タクシー年間利用者数（小吹）が毎年増加しているが、理由を知りたい。</p>	<p>福祉タクシーについては、公共交通が整っていない地域の高齢者の医療機関への通院、買物等の外出支援をタクシー車両を利用し、地域を限定して運行しています。利用されている方の外出機会が増加したことにより、年間の利用者数が増加しているものであります。</p>
4	p.17	<p>・路線バスについて 運転手不足で路線を縮小している中で増便はできないと思う。これから運転手の高齢化が進み、一企業では対応できるレベルを超えている状態。自治体のバックアップを厚くしては。</p>	<p>市の就職ガイダンスなどに出展いただくなど、市としての取組について追記しました。</p>
5	p.22	<p>・福祉バスについて コース・時間等への見直しを。（利用者の要望に合ったコースづくり）</p>	<p>福祉バスの運行は、住民のニーズなどを踏まえ、新たな交通モードの実証実験を行いながら、市域全体で持続可能な公共交通モードの再編と併せて検討していきたいと考えております。</p>
6	p.22	<p>・福祉バスについて、高齢者の移動支援が目的として施行されていますが、 ①コースに問題はないか？ ②停留所の場所は？ ③市民の意見が反映されているか？ 福祉バスが運行されていない地域でも利用したい人があるのではないだろうか</p>	<p>福祉バスの運行は、住民のニーズなどを踏まえ、新たな交通モードの実証実験を行いながら、市域全体で持続可能な公共交通モードの再編と併せて検討していきたいと考えております。</p>

番号	頁数	指摘事項	対応状況
7	p.18	・参考表の路線名について、20頁の「路線バスの利用客数（かぐや姫号を含まない）」に記載されている路線名に揃えた方が良いのでは。	p.18参考表中に路線名を追記しました。
8	p.23	・航路の説明について、「竹原～大長」航路についても、どこが運行しているという記載をした方がよいと思う。	p.23最上段の説明にも「竹原～大長」間の運行会社を記載しました。
9	p.26	・島側の交通手段として、大崎上島の移動手段の記載があり、「多くの島民が移動手段として、クルマを保有しています」との一文の根拠はあるのでしょうか。（実際に、どのくらいの人がいて、車を保有して、移動手段としているのかというデータがないと、根拠に欠ける感じがする。）	大崎上島町民のマイカー依存については、大崎上島町地域公共交通網形成計画（H28.3策定）p.52で言及されているところであり、記載について「島内の移動手段として、クルマを利用する人も多く見受けられます。」と変更しました。
10	p.45～46	・どれくらいの人がアンケートに答えたのか等が不明であり、母数がわからないため、アンケートの調査方法を記載した方が良いと思います。 ①実施期間②調査対象者数③有効回答数 等	p.45, 46に実施期間や調査方法等を追記しました。
11	p.56ほか	・文字だけだと、一目で理解がしにくいいため、アンケートの調査結果データを、グラフとして記載したらどうでしょうか。	調査結果については情報量が多く計画内にすべて反映させることが困難なため、参考資料として別冊での取りまとめを予定しております。
12	p.109	・網形成計画を作成する上で、重要な箇所であるため、公共交通ネットワークの将来イメージについての考え方について、丁寧に説明した方が良いと思います。	P109公共交通ネットワークの将来イメージの解説を記載しました。

番号	頁数	指摘事項	対応状況
13	p.13, p.41, p.68	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.地域の現状 5.観光の動向 ・ 3.公共交通の現状 竹原-かんぼ線 ・ 5.竹原市の公共交通の課題 1. 公共交通に関する現状及び問題等 路線バス <p>「かんぼの宿」に関連する事項について、閉館するということのようにですので、その点を踏まえた書きぶりにする必要があるかと思います。</p>	「かんぼの宿」閉館を踏まえて対応…修正中…
14	目次	6 竹原市の公共交通の基本目標と今後の取り組みのページ数が違う	目次について修正しました。